

ITを駆使し金型・切削レス加工で世界に挑む

株式会社井口一世

INTERVIEW

インタビュー

【所在地】 所沢市所沢新町2553-3

【代表者】 代表取締役 井口一世

【事業内容】 精密金属板金加工など

【資本金】 9,500万円

【従業員数】 32名

【TEL】 04-2990-5400

【URL】 <http://www.iguchi.ne.jp/>

近代的なオフィスは、工場エリアも含めすべて白を基調とし、ユニフォームも白。製造業でありながら、社員の7割以上が女性です。



ドイツトルンプ社製の最新鋭レーザープレスマシン。ICTとの融合で、安定した製品を高品質で製造し、完全自動化による24時間稼働も可能。



研究開発をメインとした所沢事業所には、看板はありません。モノトーンの社屋が看板代わりです。

精密金属板金メーカーとして、ITを駆使し金型・切削レス加工で世界に挑む同社の井口社長にお話をうかがいました。

●会社の概要を教えてください。

井口 当社の特徴は一言でいえば、「金型レス加工」「切削レス加工」で超高精度の板金加工を可能にしたことです。この業界では常識外な方法ですが、会社設立後、金型レス加工の開発に着手し、さらにその技術の延長上にある切削レスの加工に行き着くまで一〇年ほどかかりました。しかし、低コスト、高精度の加工を実現したことで、競合他社との差異化を図ることができ、業績も順調に推移しています。

●会社名は「株式会社井口一世」と社長ご自身の名前ですね。

井口 二〇〇一年に当社を設立しましたが、設立当初から、過去の常識や一般的な常識にとらわれないう会社にしたという強い思いがありました。会社名についても「〇〇金属株式会社」とか「株式会社〇〇精工」といったようなどこかで聞いたことのあるような名

称にはしたくなかった。ですから、一度聞いただけで頭に残るような名称にしたい、そんな思いもあり、思い切って会社名も自分の名前にしてしまっただけです。

●当社の加工技術により、いままでのコストが半分以上まで削減できるとお聞きしましたが。

井口 通常、切削加工では、さまざまな形状の金属材料を切削して加工していくわけですが、六割近い材料が無駄になるといわれています。そこで、切削をせずに精度の高い板金加工、つまり切削レス加工によりこの無駄をなくしていききました。さらに、切削するといふ工程自体をなくしたことで、加工時間を大幅に短縮することが可能になり、従来の製造コストの半分以下に抑えることができるようになったわけです。

また、金型の製造には多額のコストを必要としますが、金型を使わずに部品を製造する当社の加工技術は、試作機製造の段階ではもちろん、大量生産前の市場評価時においても、完成品メーカーにとって、低コストで製品が製造でき、



塑性加工の
常識を変えます。

- 1 高い金型はいりません。金型レス加工
- 2 単価が1/2、1/3になります。切削レス加工
- 3 適正価格を簡単・即座に算出できます。「これいくら」



産業交流展特別展ブース

受賞歴
JAPAN Venture Awards 2013
経済産業大臣賞／平成24年度
「東京都経営革新優秀賞」最優秀賞受賞など



金型レス、切削レス
製品サンプル

企業概要
設立 2013年 4月 25日
所在地 東京都 江東区
事業内容 金属加工の常識を変える
「金型レス加工」の技術開発・提供
「切削レス加工」の技術開発・提供
「適正価格算出システム」の開発・提供
「生産管理システム」の開発・提供
「品質管理システム」の開発・提供
「顧客管理システム」の開発・提供
「人事管理システム」の開発・提供
「財務管理システム」の開発・提供
「労務管理システム」の開発・提供
「安全管理システム」の開発・提供
「環境管理システム」の開発・提供
「エネルギー管理システム」の開発・提供
「水管理システム」の開発・提供
「廃棄物管理システム」の開発・提供
「物流管理システム」の開発・提供
「情報管理システム」の開発・提供
「システムインテグレーション」の開発・提供
「クラウドサービス」の開発・提供
「モバイルサービス」の開発・提供
「ウェアラブルデバイス」の開発・提供
「IoTデバイス」の開発・提供
「ビッグデータ」の開発・提供
「人工知能」の開発・提供
「ロボティクス」の開発・提供
「ドローン」の開発・提供
「3Dプリンティング」の開発・提供
「VR/AR」の開発・提供
「拡張現実」の開発・提供
「仮想現実」の開発・提供
「メタバース」の開発・提供
「デジタルマーケティング」の開発・提供
「デジタルトランスフォーメーション」の開発・提供
「デジタル戦略」の開発・提供
「デジタル人材」の開発・提供
「デジタル文化」の開発・提供
「デジタル社会」の開発・提供
「デジタル未来」の開発・提供
「デジタル革命」の開発・提供
「デジタル変革」の開発・提供
「デジタルイノベーション」の開発・提供
「デジタルエコシステム」の開発・提供
「デジタルエコノミー」の開発・提供
「デジタルインフラ」の開発・提供
「デジタルガバナンス」の開発・提供
「デジタルセキュリティ」の開発・提供
「デジタルプライバシー」の開発・提供
「デジタル権利」の開発・提供
「デジタル責任」の開発・提供
「デジタル倫理」の開発・提供
「デジタル規範」の開発・提供
「デジタル文化」の開発・提供
「デジタル社会」の開発・提供
「デジタル未来」の開発・提供
「デジタル革命」の開発・提供
「デジタル変革」の開発・提供
「デジタルイノベーション」の開発・提供
「デジタルエコシステム」の開発・提供
「デジタルエコノミー」の開発・提供
「デジタルインフラ」の開発・提供
「デジタルガバナンス」の開発・提供
「デジタルセキュリティ」の開発・提供
「デジタルプライバシー」の開発・提供
「デジタル権利」の開発・提供
「デジタル責任」の開発・提供
「デジタル倫理」の開発・提供
「デジタル規範」の開発・提供



株式会社井口一世を
使わないと損をします。

詳しくは
井口一世 で検索してください。

株式会社 井口一世

◀ファーストインプレッションを重視した、シンプルなデザインの会社パンフレット。

大きな魅力となっているようです。このため、大手メーカーとの取引では、他社との見積もり合わせではなく、設計段階から当社を指名でしていただく案件も増えてきています。

●高い技術力を維持している中で、従業員の七割以上が女性だとか。

井口 女性社員を増やそうという意図は特になく、当社の基準で採用していった結果、女性の割合が高い状況になっているということでしょう。

常識にとらわれない経営を目指している当社にとって、製造現場の社員を採用する時でも、金属加工の経験や知識がない方がよいと考えています。生半可な経験や知識があると「こんなことはできない」「こうしたことは、やってはいけない」など、自ら革新的な加工方法から避けるようになってしまふ。ですから、社員を採用する際は、問題解決のポイントをつかむ能力や与えられたミッションをやり遂げる能力などを重視して採用しています。

当然、ものづくりをしているわ

けですから、いわゆる職人技術的な高度な加工技術は必要ですが、今までの膨大な加工データ、いわば企業内のビッグデータを自ら作成したプログラムで駆使することにより、高い加工技術を維持、向上させてきました。そういう面では、製造業というよりIT企業に近い存在なのかもしれませんね。

●フランチャイズ展開で海外市場を目指すとか。

井口 昨今、中小企業でも工場の海外進出が多くなっているようですが、当社自らが海外で生産することは考えていません。当社はあくまで、日本のここ所沢を拠点に、当社が培ったITを駆使したもののづくりをフランチャイズによる方法で工場を展開していきたいと考えています。このため、ノウハウなどのブラックボックス化を考えると重要な知的財産戦略も着手しはじめています。

今後も、「ものづくり」「IT」「知財戦略」をキーワードに、さらなる技術革新により「ものづくりのシンクタンク」を目指してまいります。